

2013/3期 決算説明会

株式会社 **フォーバル**

2013.5.23

2013/3期 連結決算概要

**アイコン事業が順調に拡大
増収・増益/利益率の向上**

財務体質の強化

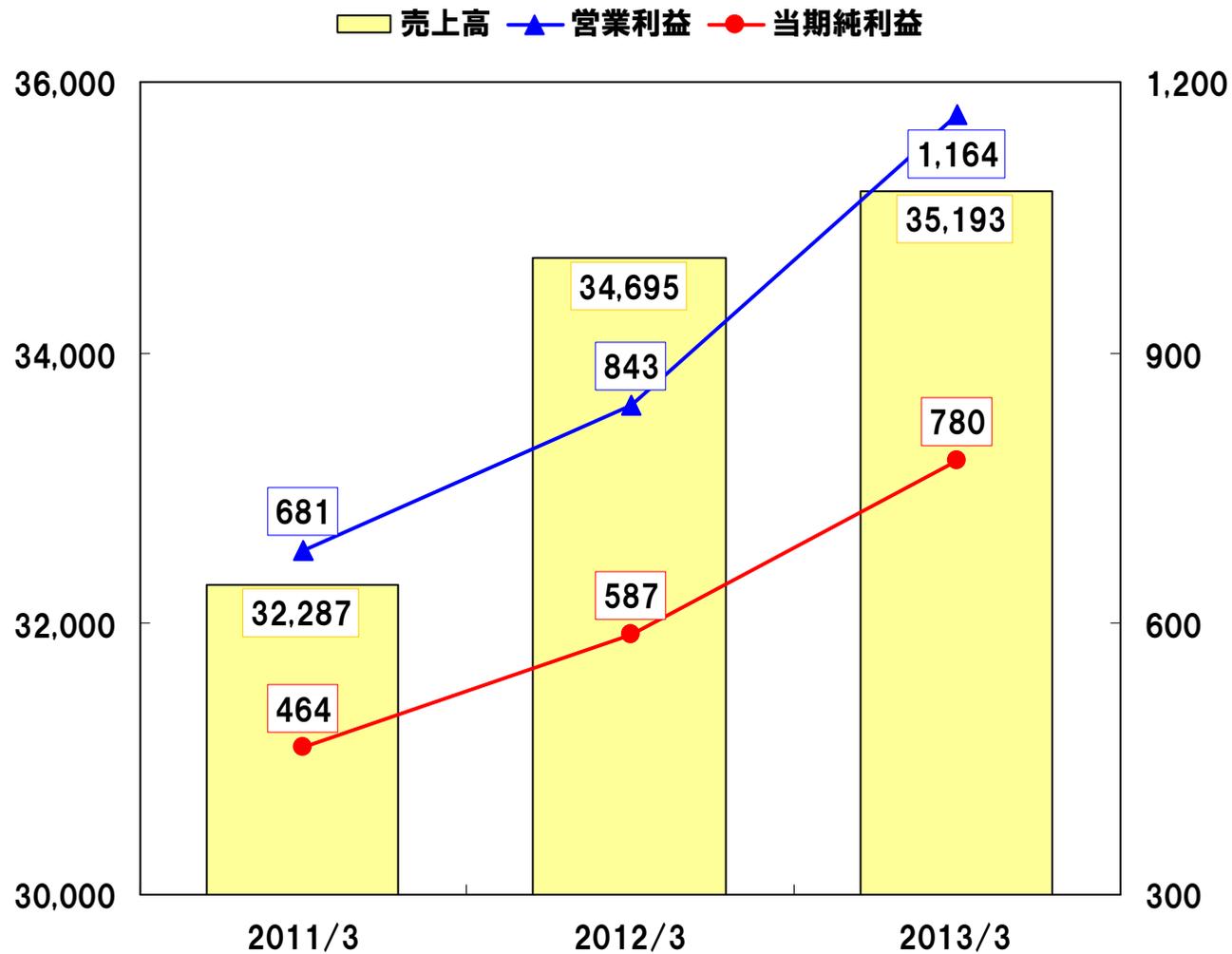
海外事業の基盤拡大

FORVAL 連結決算概要

	2013/3				2012/3		2013/3	
	実績	売上比	前期比	期初予想比	実績	売上比	期初予想	売上比
売上高	35,193	100.0%	498 【1.4%】	193 【0.6%】	34,695	100.0%	35,000	100.0%
売上総利益	10,249	29.1%	431 【4.4%】		9,817	28.3%		
販管費	9,085	25.8%	111 【1.2%】		8,974	25.9%		
営業利益	1,164	3.3%	320 【38.0%】	64 【5.9%】	843	2.4%	1,100	3.1%
経常利益	1,216	3.5%	369 【43.7%】	116 【10.6%】	846	2.4%	1,100	3.1%
	特別損益120 法人税等合計△495				特別損益△606 法人税等合計363			
当期純利益	780	2.2%	193 【32.9%】	80 【11.4%】	587	1.7%	700	2.0%

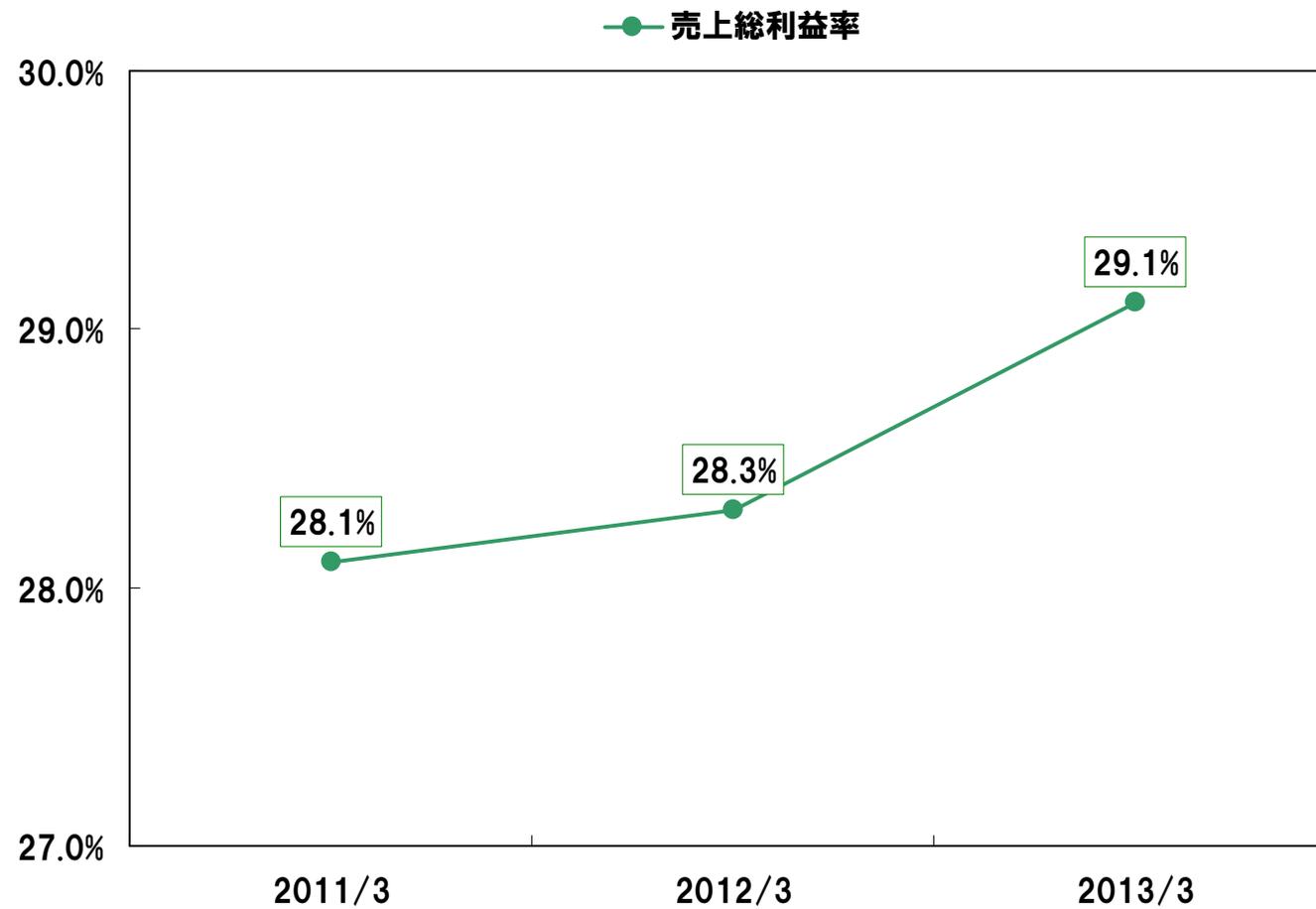
単位:100万円

増収・増益

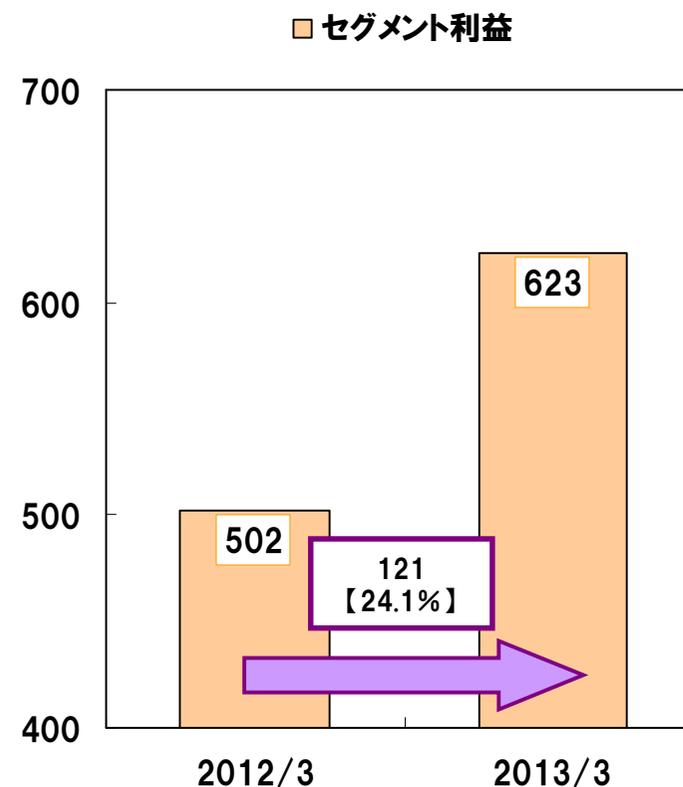
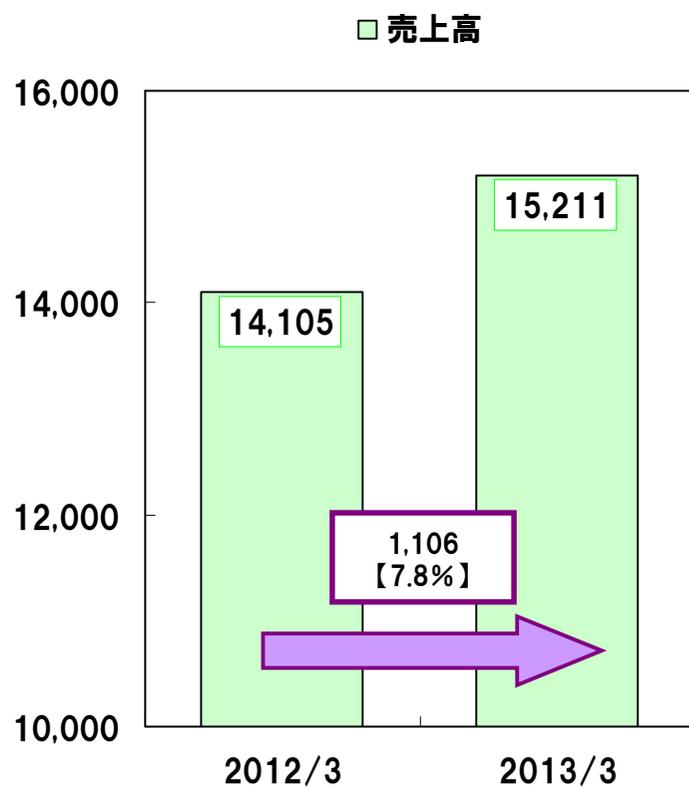


単位: 100万円

利益率の向上



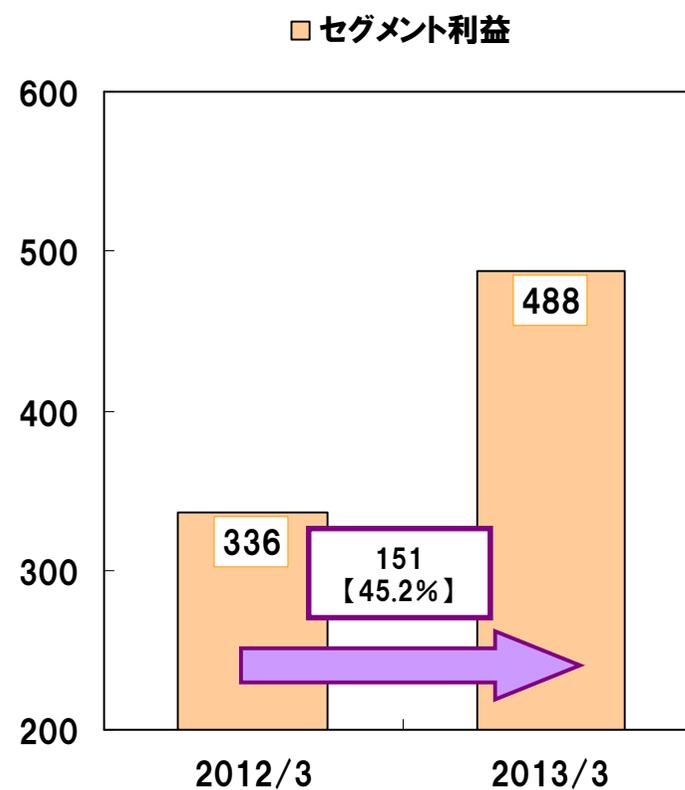
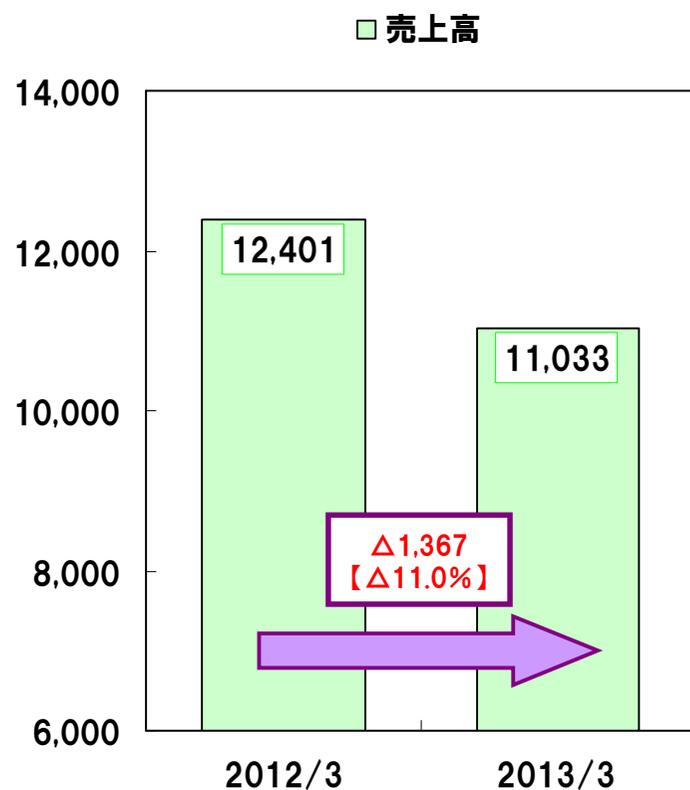
フォーバルビジネスグループ



単位:100万円

アイコン事業の拡大、リアルタイムマネジメントの定着

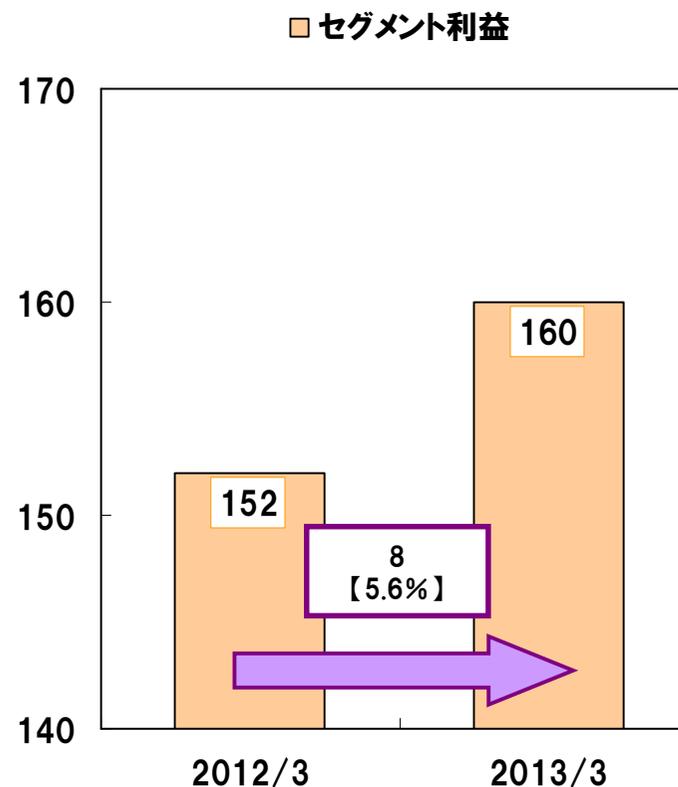
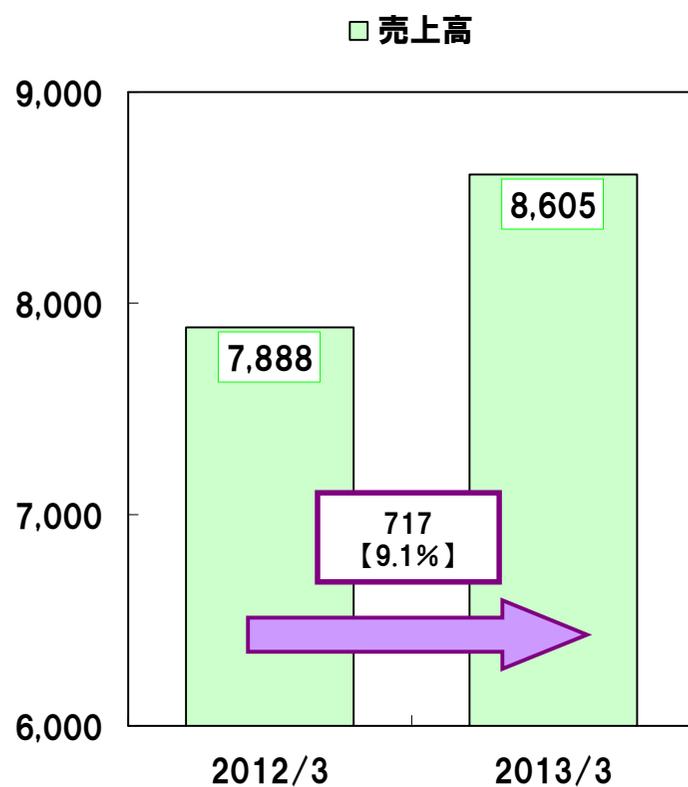
フォーバルテレコムビジネスグループ



通信サービスの新規獲得の鈍化
一部事業の譲渡

単位: 100万円
不採算事業の改善

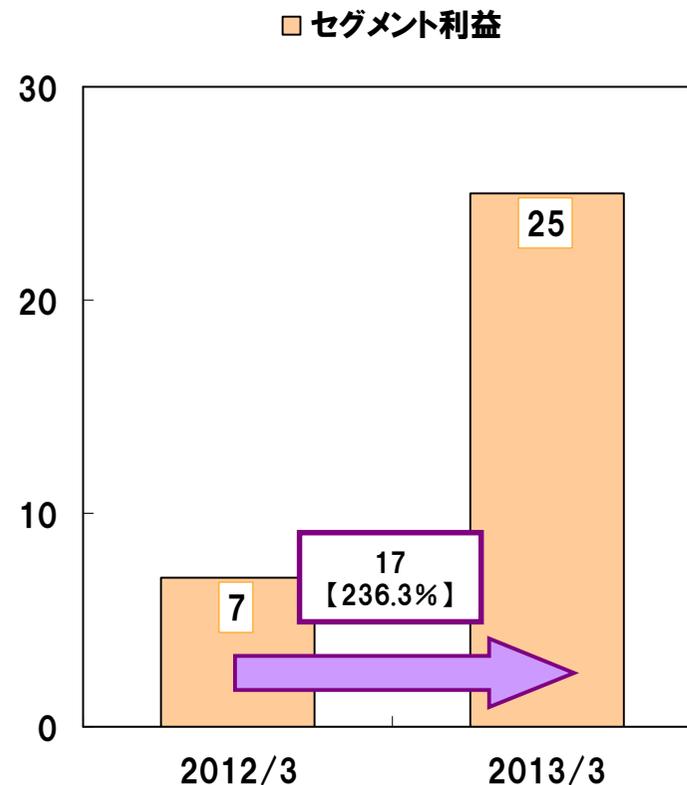
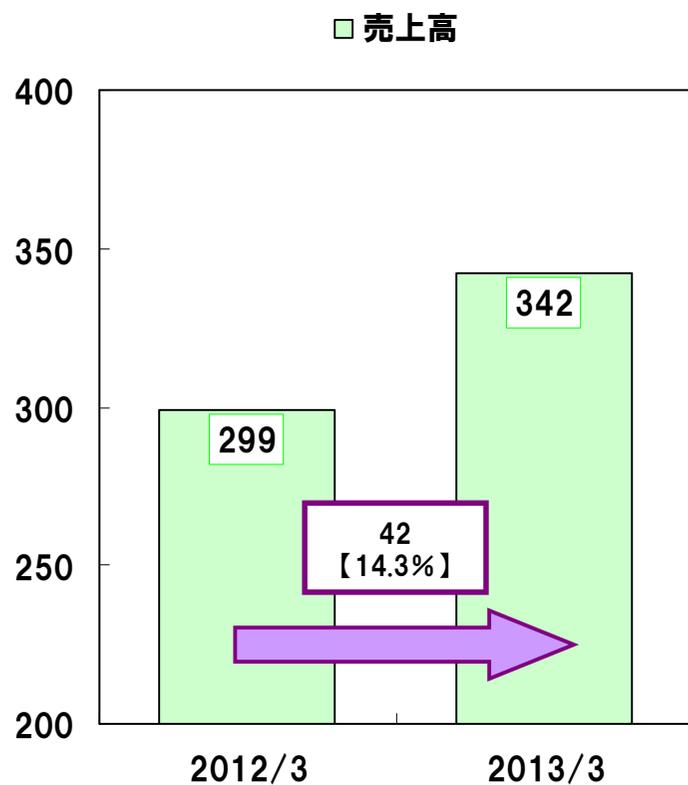
モバイルショップビジネスグループ



単位:100万円

スマートフォンを中心に携帯販売台数が増加

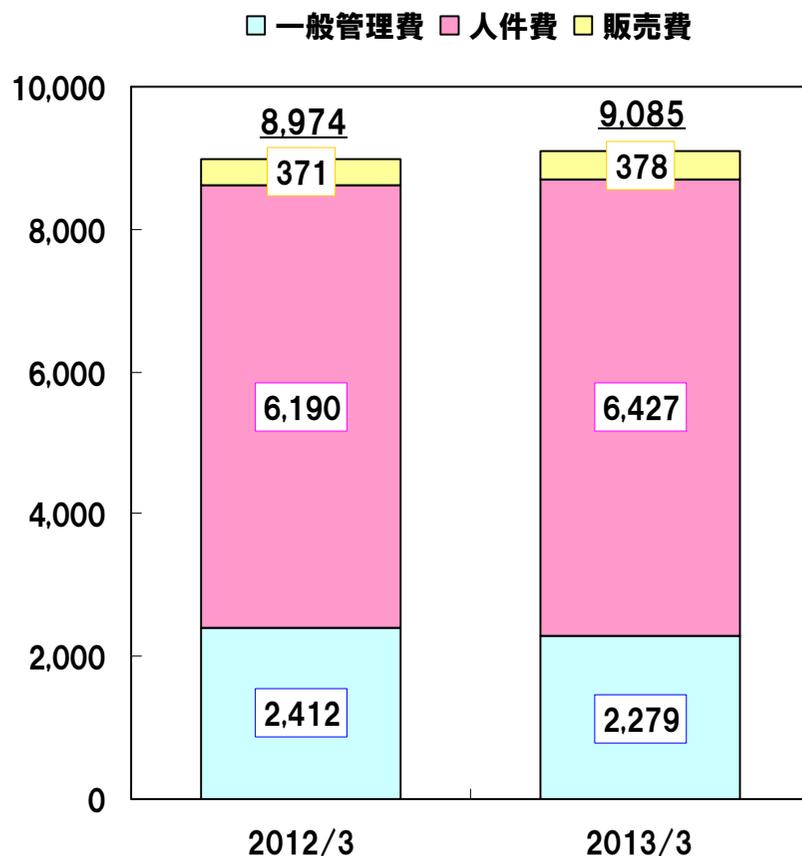
その他事業グループ



単位: 100万円

人材関連サービスが好調

前期比1.2%増に抑制



販売費

前期比 6【1.8%】

広告宣伝費の増加

人件費

前期比 237【3.8%】

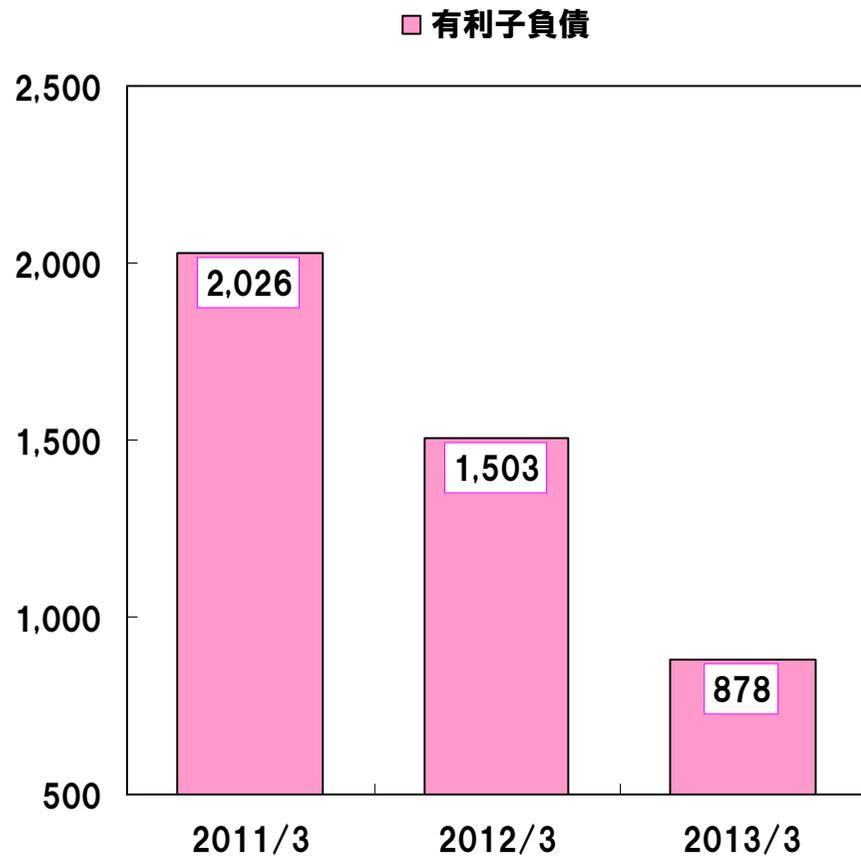
事業拡大に伴う増加

一般管理費

前期比 $\Delta 133$ 【 $\Delta 5.5\%$ 】

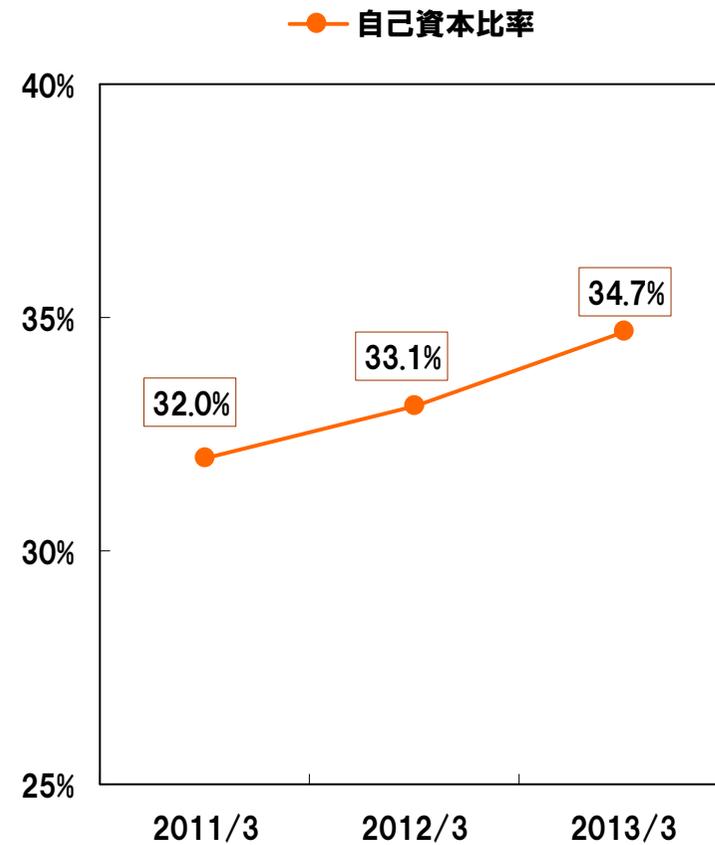
事務所再編等による地代家賃の減少
ソフトウェアやのれんの償却費の減少

単位:100万円



単位: 100万円

有利子負債の着実な圧縮



自己資本比率の改善

2014/3期連結業績見通し

FORVAL 2014/3期連結業績見通し

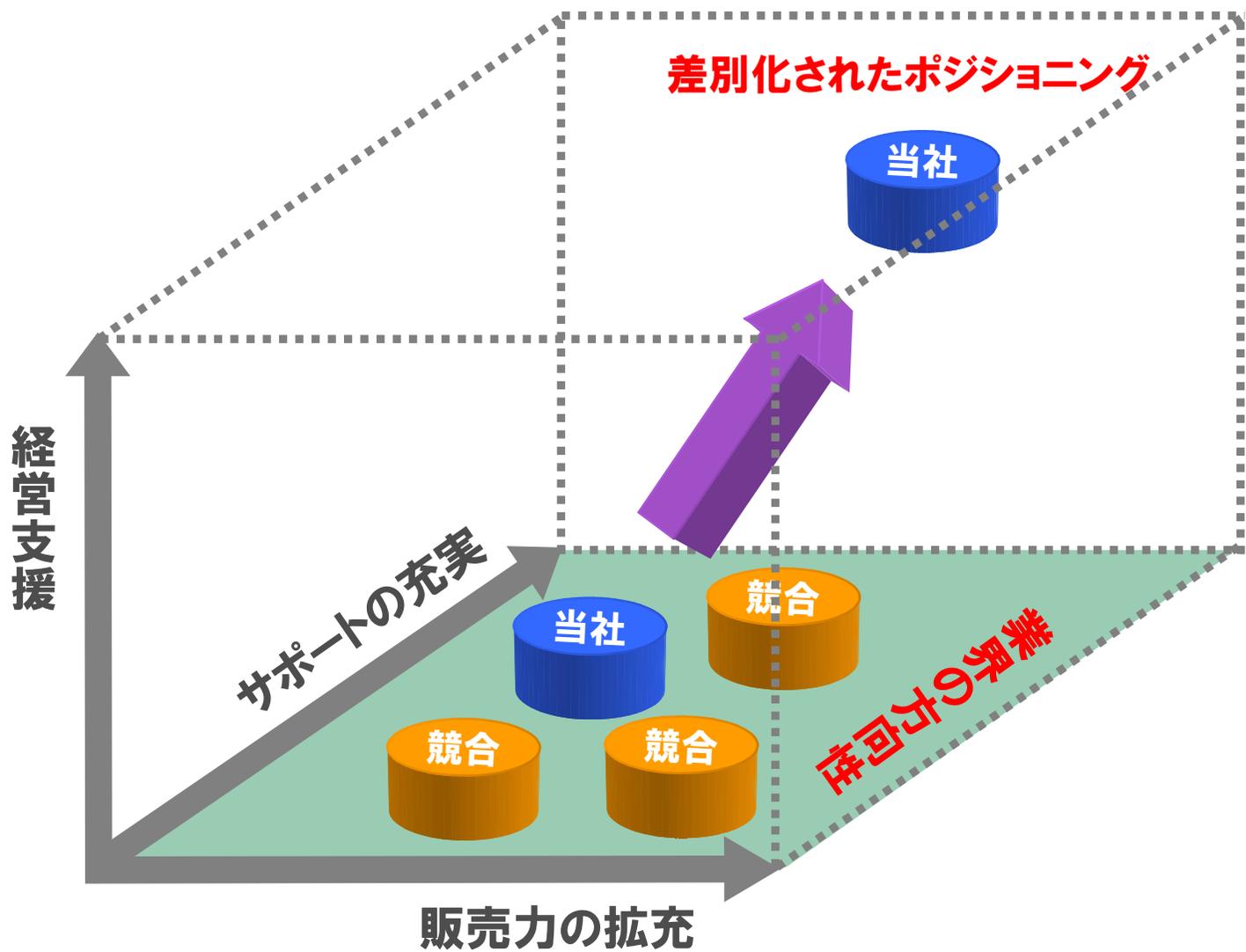
	2014/3期予想			2013/3期	
	予想	売上比	前期比	実績	売上比
売上高	36,000	100.0%	806 【2.3%】	35,193	100.0%
営業利益	1,370	3.8%	205 【17.6%】	1,164	3.3%
経常利益	1,400	3.9%	183 【15.1%】	1,216	3.5%
当期純利益	740	2.1%	△40 【△5.1%】	780	2.2%

特別利益
209百万円計上

単位:100万円

フォーバルグループの成長戦略

『情報通信コンサルタント』として
企業経営を支援する集団となり、
中小・中堅企業の利益に貢献する！



資格取得率

2012/3

インターネット検定
ドットコムマスター
68.1%

個人情報保護士
60.1%

社内資格
スマートマスター検定
43.6%

2013/4

インターネット検定
ドットコムマスター
75.1%

個人情報保護士
67.9%

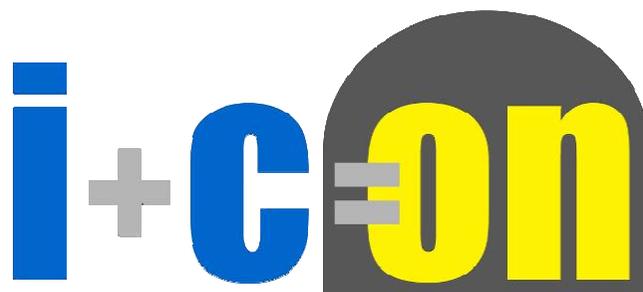
社内資格
スマートマスター検定
62.4%

7.0
ポイントup

7.8
ポイントup

18.8
ポイントup

経営支援の手段

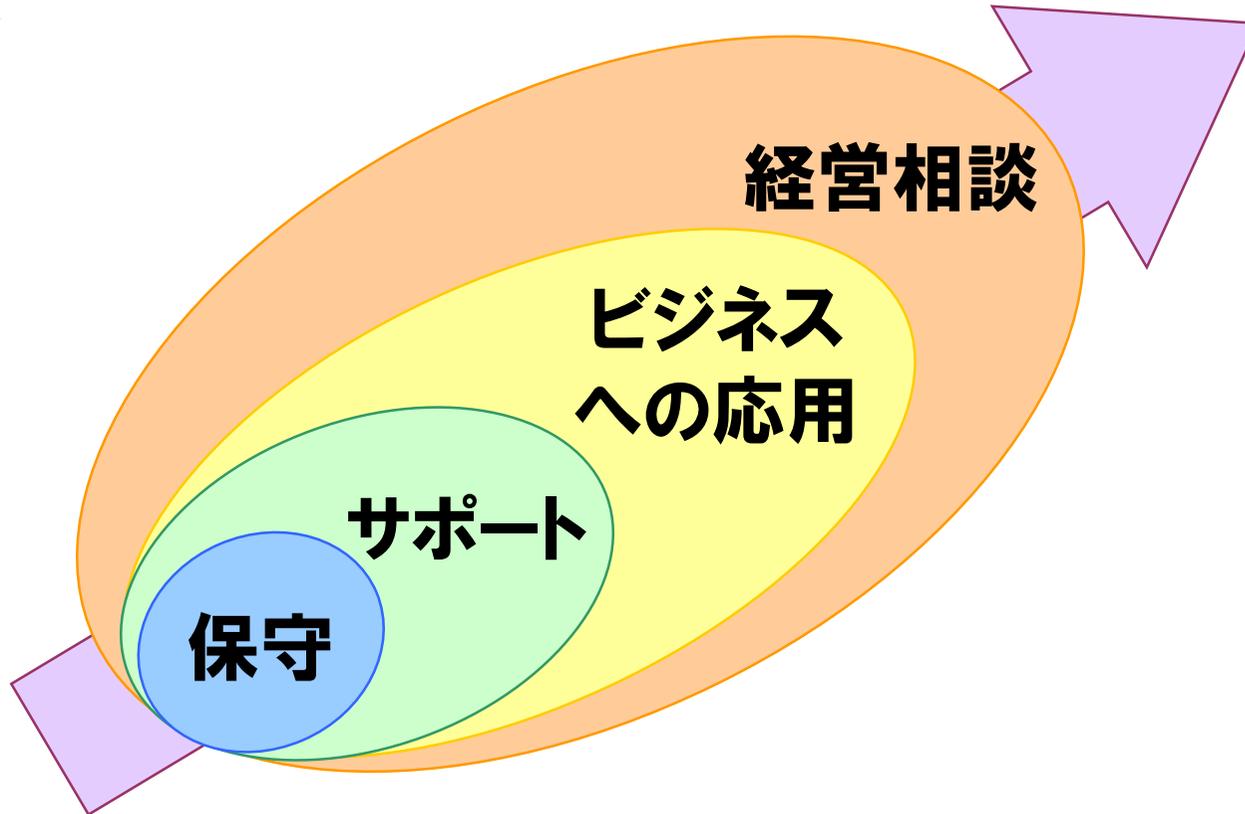


「アイコンサービス」とはストック型の定期訪問付き経営相談サービス

- よろず経営相談
 - 情報通信コンサル
 - WEBコンサル
 - 海外進出コンサル
 - 経営コンサル
 - パソコン遠隔サポート
 - パソコンログサポート
 - サーバー運用サポート
 - パソコン・サーバーの遠隔監視
 - WEB運営助言・更新サポート
 - 電話機、ネットワークの保守・障害対応
 - 複写機・複合機のメンテナンス
- etc.

FORVAL 「アイコンサービス」の進化

ARPU



高い参入障壁の実現

業者

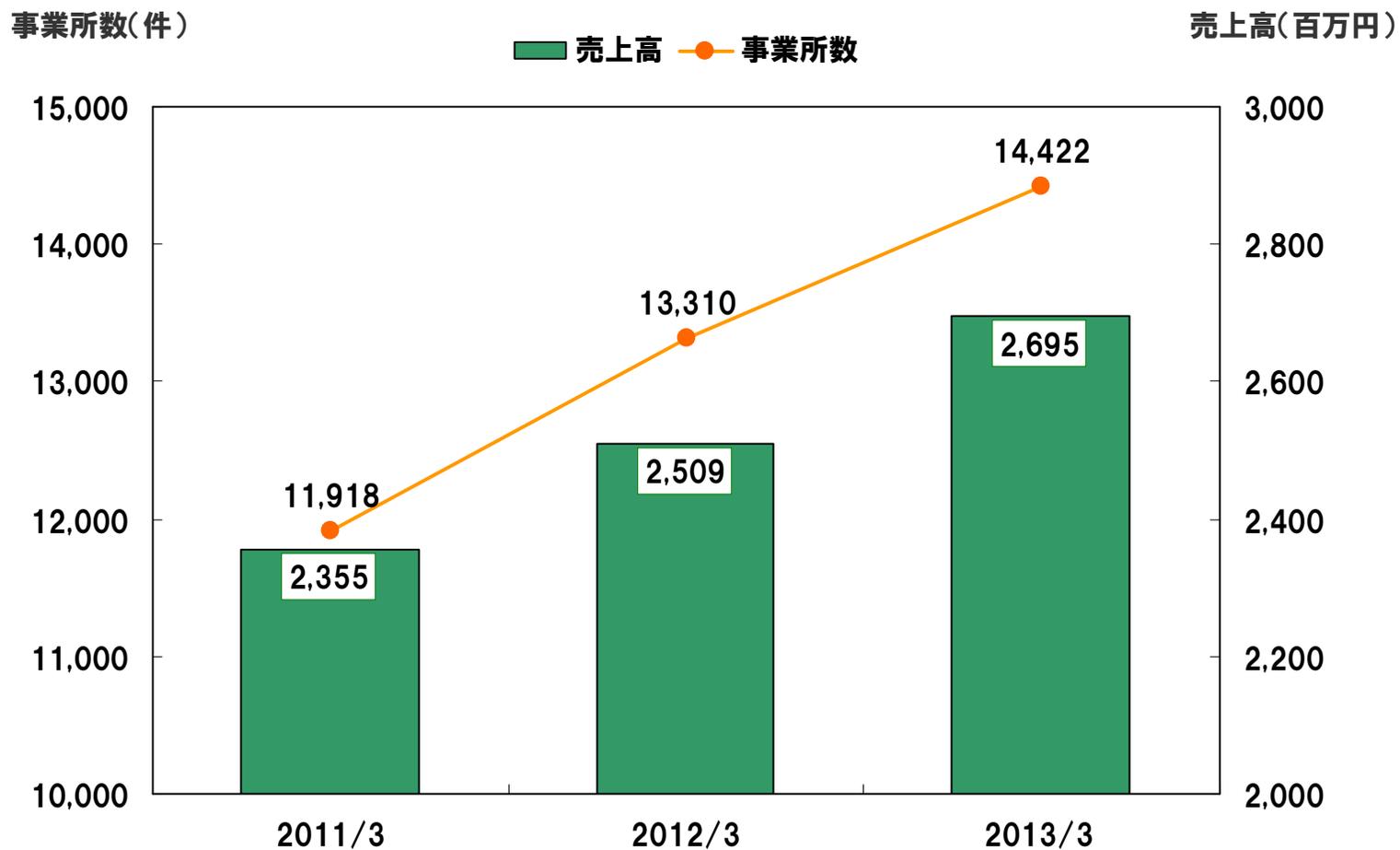
ビジネスパートナー

顧客リレーションの深化

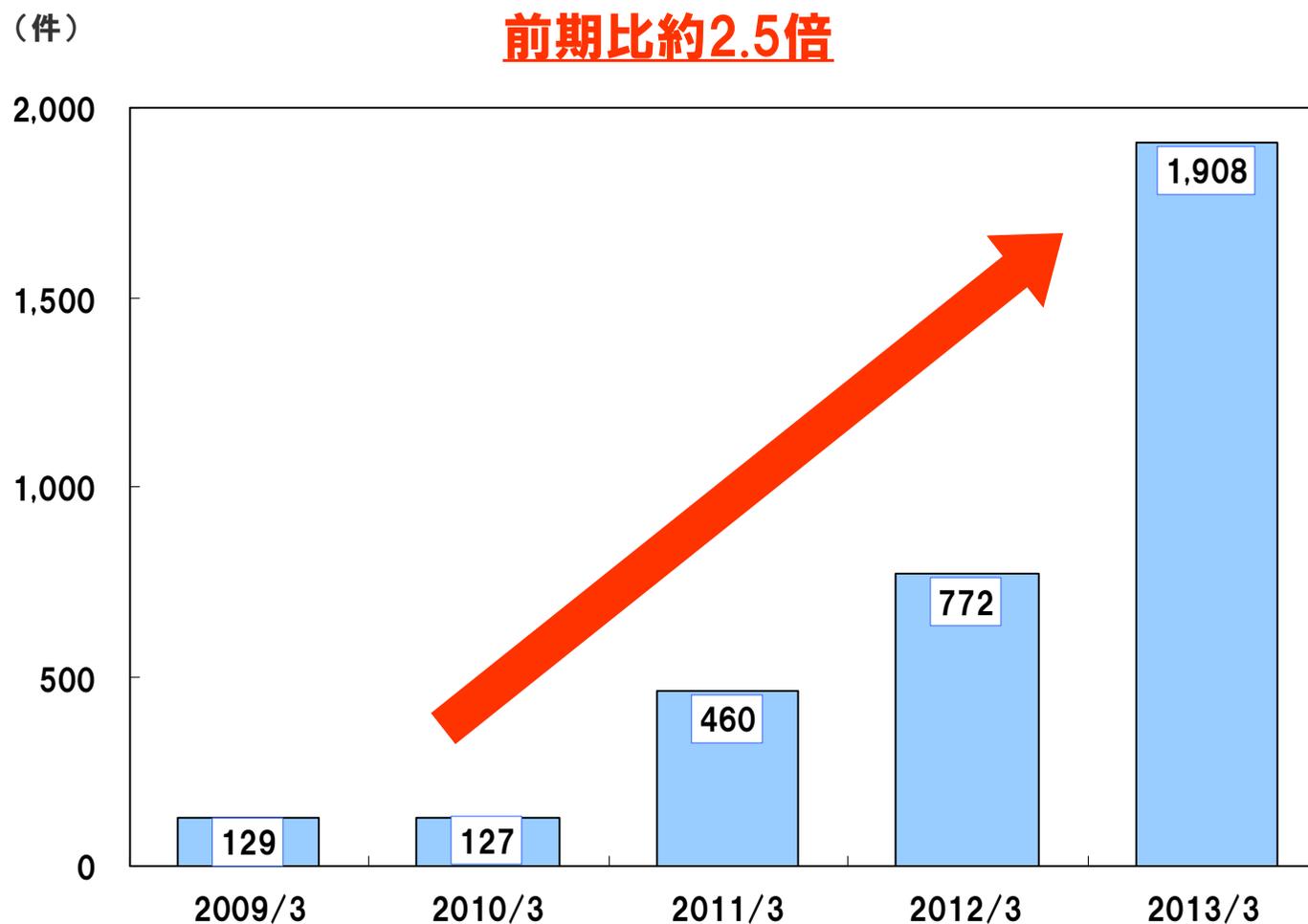
差別化された経営支援の二大テーマ

情報通信の知識・技術を駆使した 経営コンサル

順調に拡大



情報通信コンサルタントとして認知される

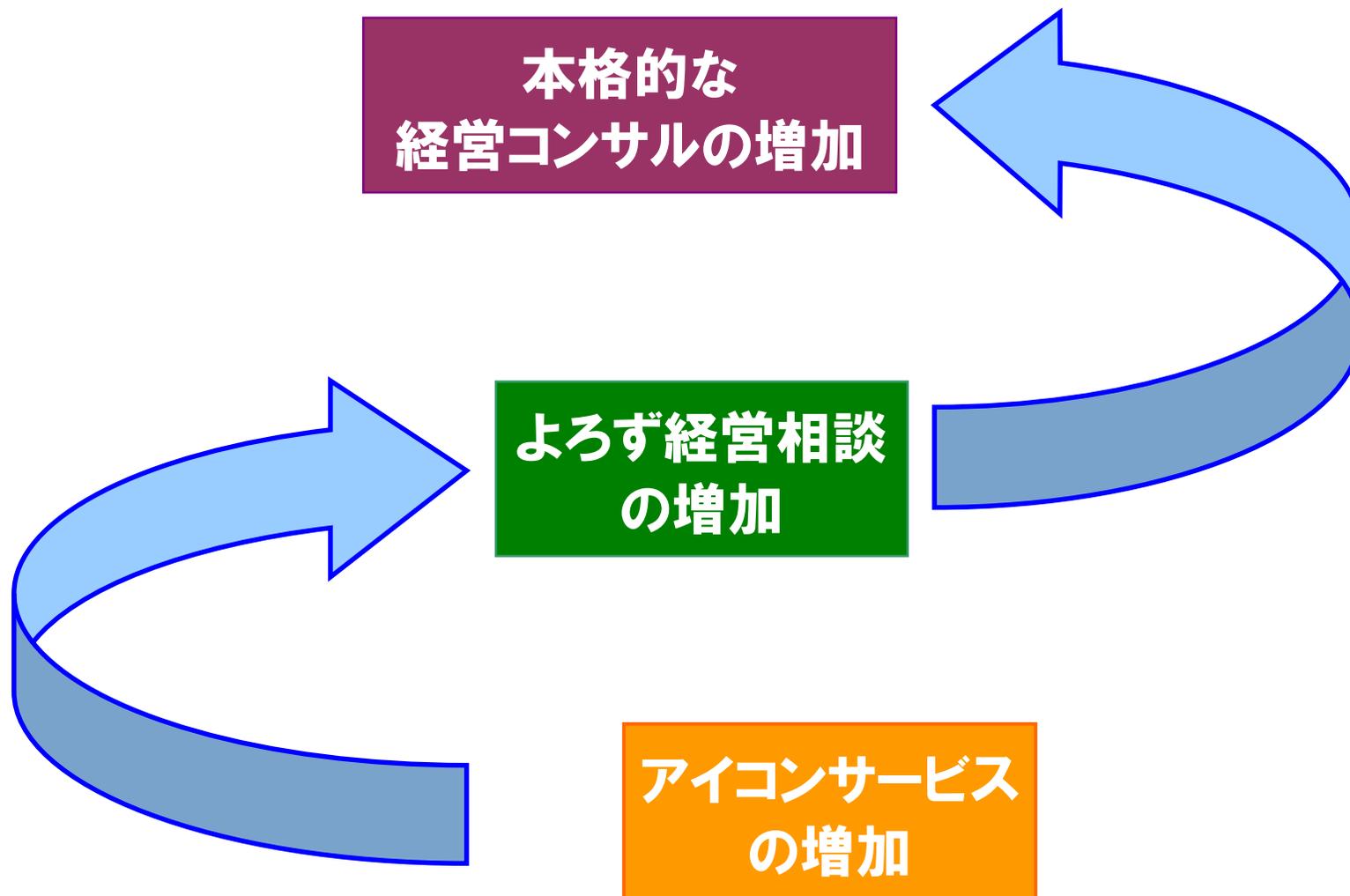


拡大 チャンネル展開

「アイコンサービス」のビジネスモデルを提供

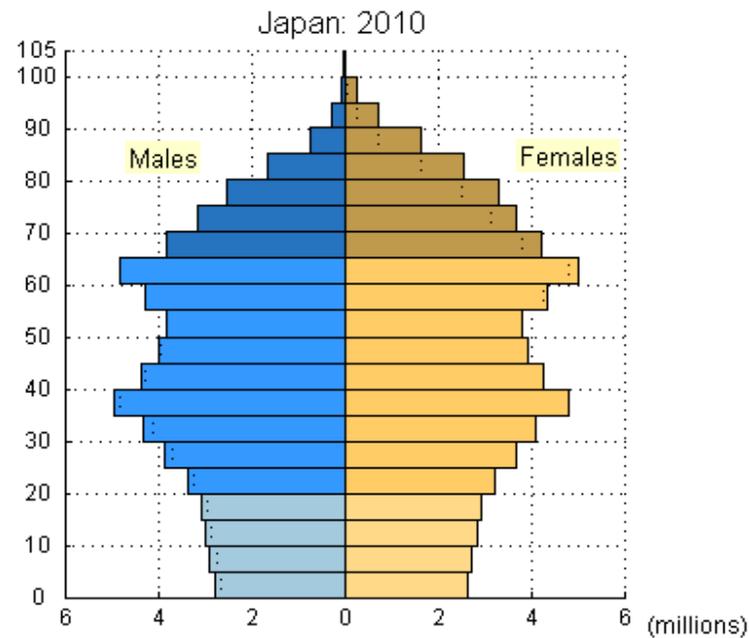
強化 キャリア・メーカーとの連携

「アイコンサービス」の更なる充実を図る



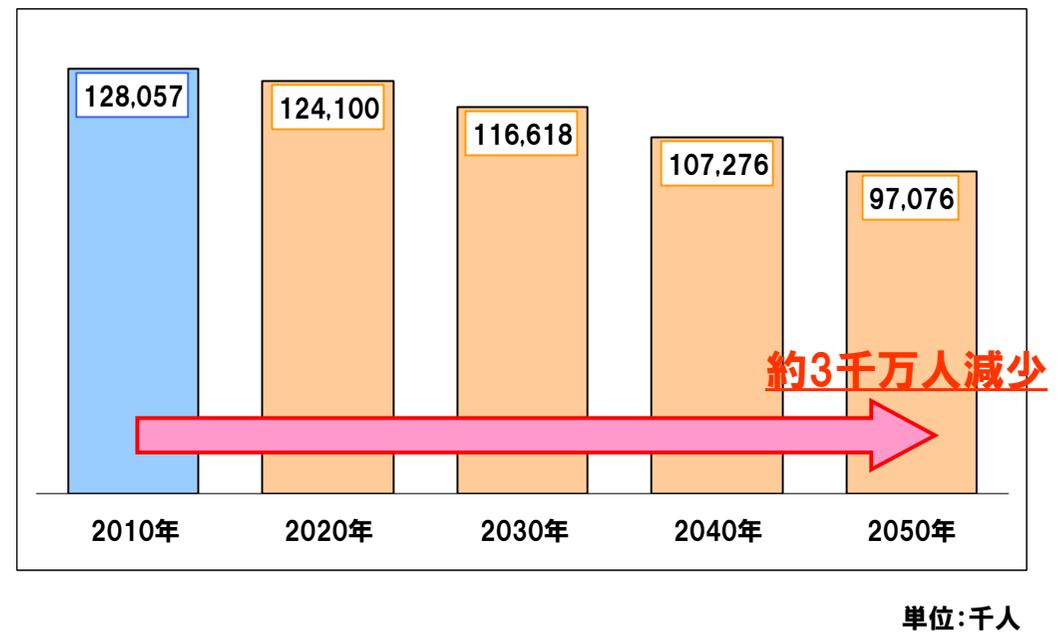
独自の海外進出ノウハウによる 経営コンサル

日本の人口ピラミッド



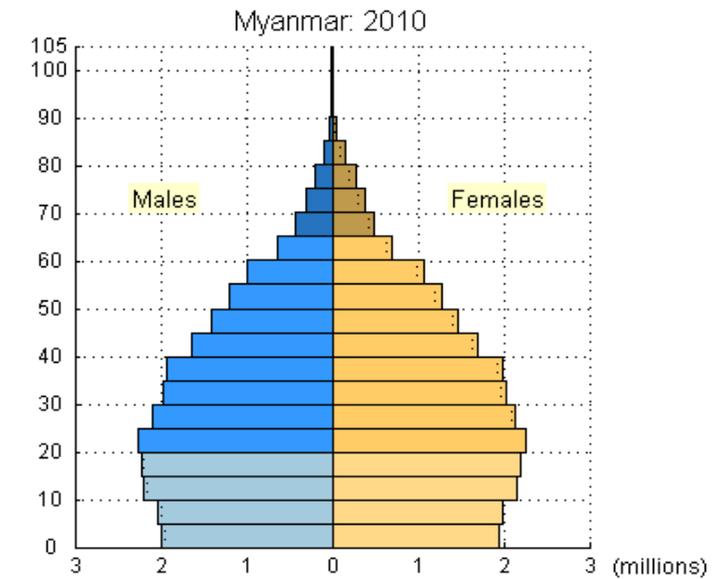
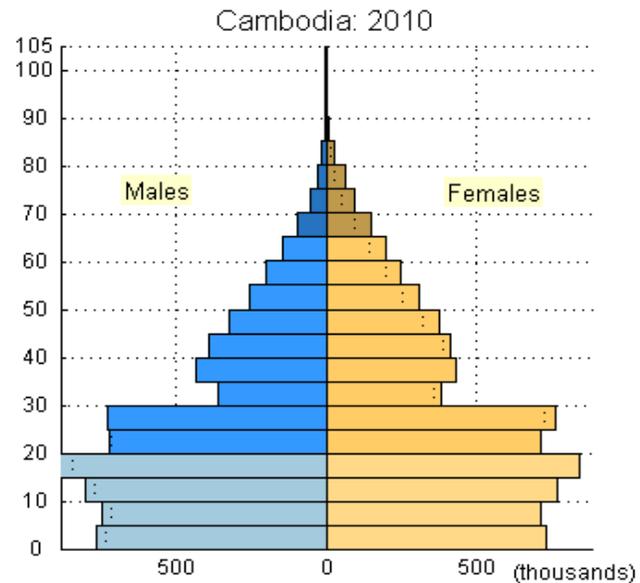
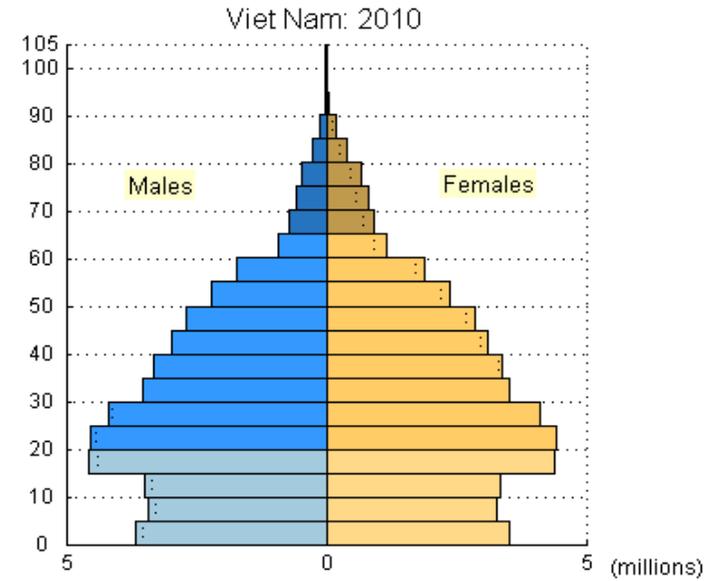
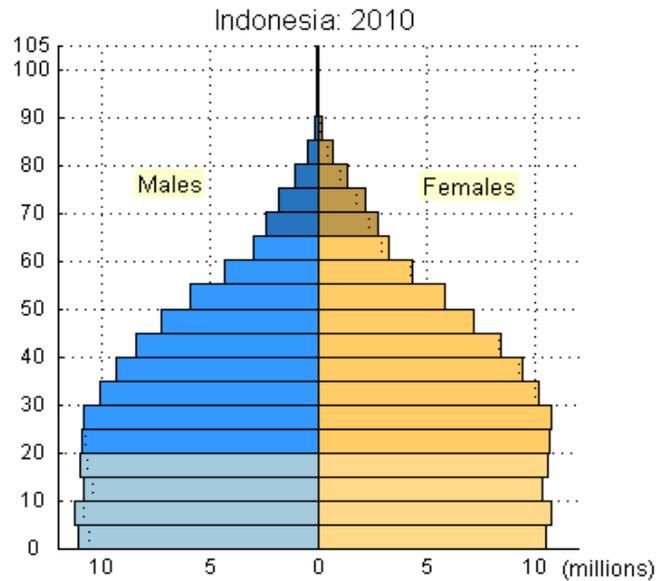
国際連合「World Population Prospects, the 2010 Revision」

日本の人口推移予想



国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2013年版」

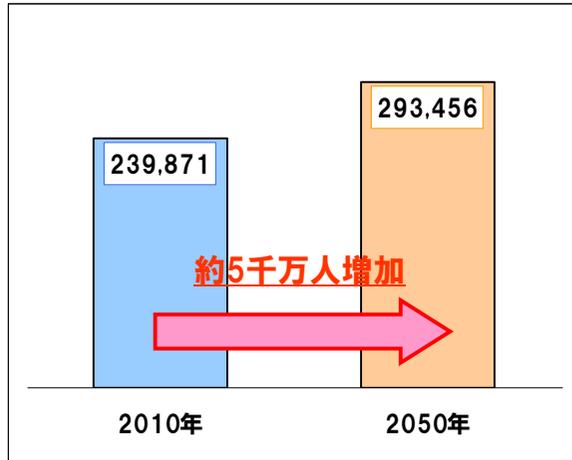
FORVAL 東南アジアマーケットの将来性(人口ピラミッド)



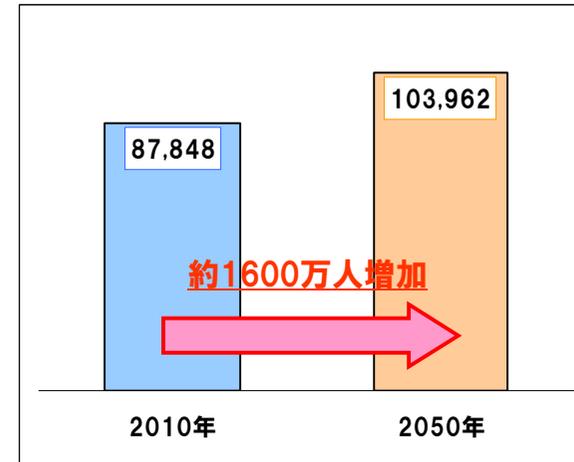
国際連合「World Population Prospects, the 2010 Revision」

FORVAL 東南アジアマーケットの将来性(人口推移予想)

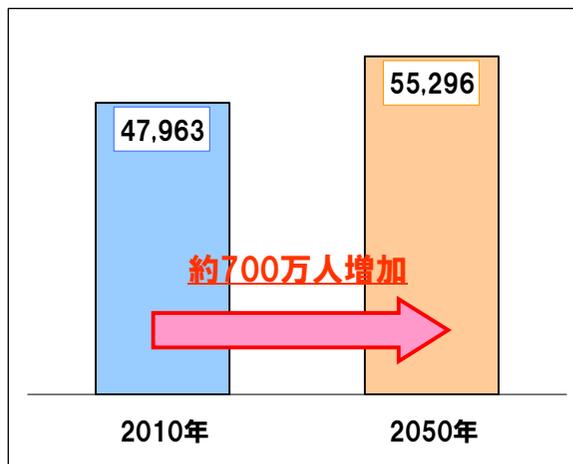
インドネシア



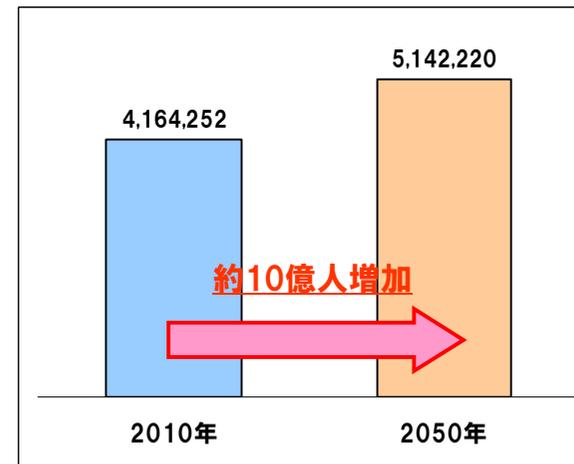
ベトナム



ミャンマー



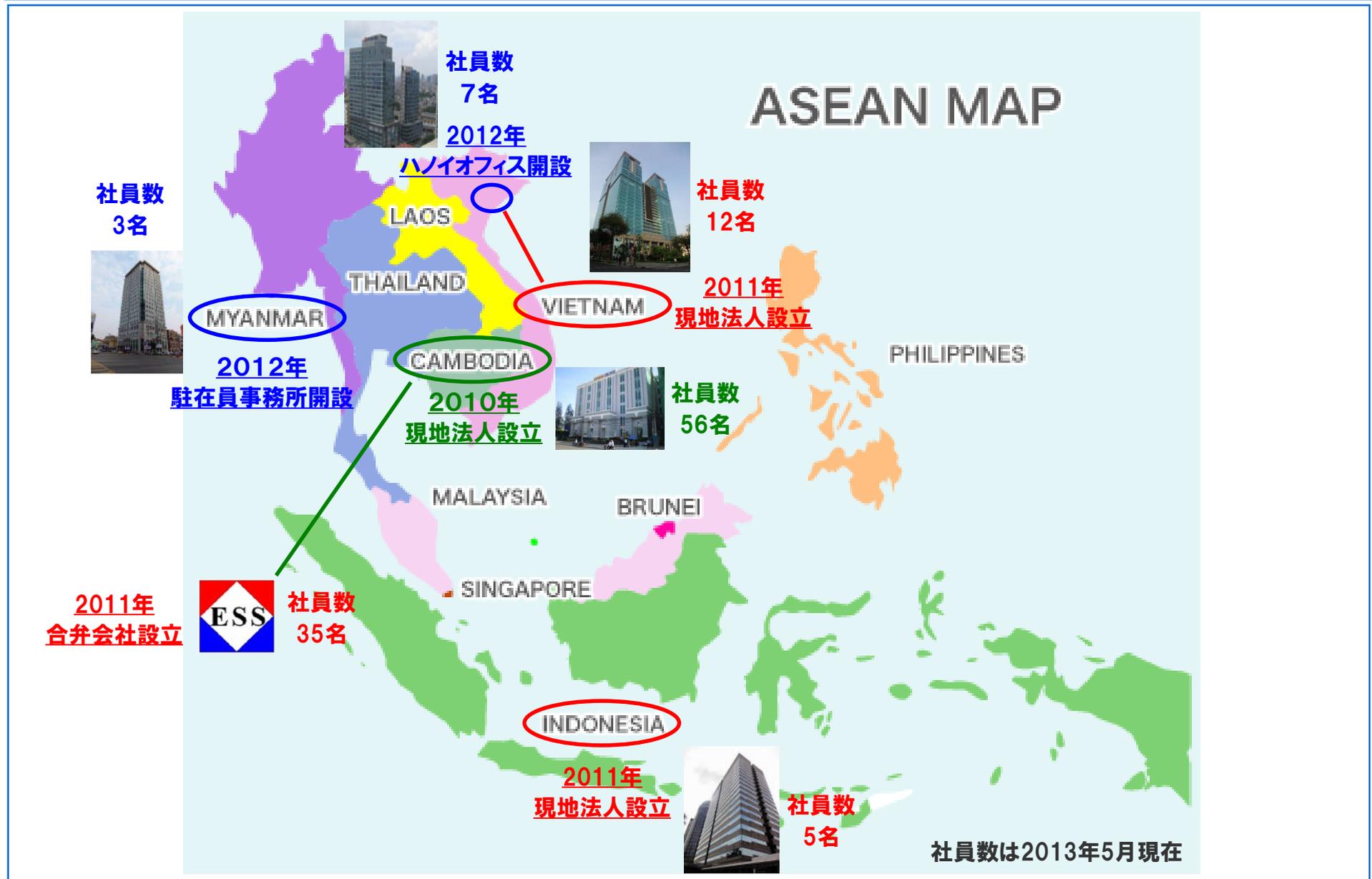
アジア



国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2013年版」

単位:千人

FORVAL ASEAN進出支援体制の確立



トータルサポート

stage

進出後



stage

進出前



OA・NW
ITサポート

■ OA・NWのIT環境サポート

バック
オフィス
業務支援

■ 会社規定作成支援
■ 経理・総務等業務支援
■ セールスプロモーション支援

人材採用
支援

■ 現地スタッフ採用支援
■ 現地スタッフ教育支援

現地法人
設立支援

■ 工場用地・オフィス・駐在員住居選定支援
■ 法人登記・各種ライセンス申請登録支援
■ 内装・什器・OA・NW環境構築支援

海外進出
FS支援

■ 現地視察ツアー同行
■ FS調査・マーケティングリサーチ
■ レンタルオフィス提供

情報提供

■ セミナー
■ 紙面 & WEBの活用

国内

行政機関

埼玉県（2012年8月）

『埼玉県アセアンビジネスサポートデスク』の運営業務を受託

長崎県（2013年5月）

『長崎県東南アジアビジネスサポートデスク』の運営業務を受託

地域金融機関

株式会社百十四銀行（2012年3月）

岡崎信用金庫（2012年3月）

株式会社大分銀行（2013年1月）

その他5行

ASEAN諸国への進出を検討している金融機関の取引先に
専門的な海外進出コンサルを実行

その他

国内大手金融グループ

etc.

海外

行政機関

ベトナム外国投資庁（計画投資省 傘下）
（外国直接投資の活動を管理している国家機関）

2012年5月 日系中小企業の積極誘致に向けた相互協力

2013年2月 工業団地のインフラに関するニーズ調査等の相互協力

バリアーブンタウ省（ベトナム） 商工局
（外資企業の誘致促進活動を行う窓口機関）

2012年6月 日系中小企業の積極誘致に向けた相互協力

2012年9月 「バリアーブンタウ省進出支援日本事務所」の運営業務を受託

ヤンゴン管区工業団地開発委員会 & ミャンマー工業会
（ヤンゴン管内のElectric Power and Industry省が『ヤンゴン管区
工業団地・ビジネス開発センター』を推進するために設立した組織）

2012年10月 『ヤンゴン管区工業団地・ビジネス開発センター』設立で協力

各国工業団地

PT Lippo Cikarang Tbk, デルタシリコン工業団地内 JSC

Dai An Joint Stock Company, ダイアン工業団地内 JSC

TINNGHIA Corp, ニョンチャックIII工業団地内 JSC

日系中小企業向けレンタル工場

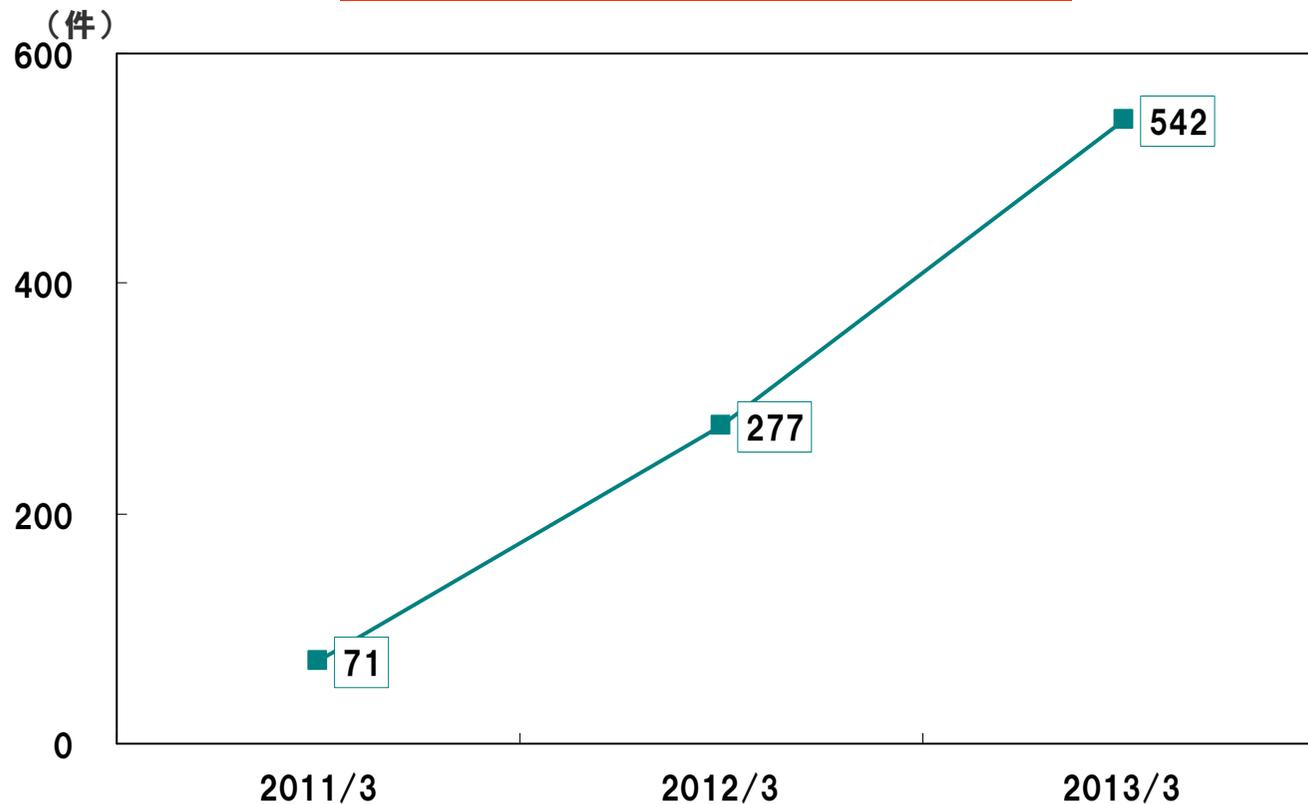
その他

ベトナム商工会議所（2012年9月）

etc.

ASEAN進出支援企業としてのブランド確立

累計で500社超の企業をアテンド



※一部大型ミッション等を含まず

将来の見通しに関する記述についてのご注意

本プレゼンテーション資料に掲載されている弊社の計画、目標、方針、戦略、判断、財務的予測、将来の数値・金額などのうち、歴史的事実でないものは弊社に関わる将来の見通しに関する記述であり、弊社の経営陣が現在入手可能な情報に基づく予測、想定、認識、評価、判断、前提(仮定)等を基礎としています。これらの実現については、様々な要素の潜在的リスクや不確実性を含んでいます。

なお、本プレゼンテーション資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われますようお願い申し上げます。